

防災マニュアル：訓練・備蓄・安否確認等に関する調査票

一般社団法人日本看護系大学協議会 災害支援対策委員会

* 調査票へのご記入に際して、以下についてお願いいたします。

- ・ 会員校代表者様へのご依頼ですが、記入者は貴校の防災関連活動の主たる担当者の方であれば教員又は事務担当者でも構いません。
- ・ 記載内容についてお問い合わせをさせていただくことがありますので、ご記入者の職名と連絡先電話番号のご記入をお願いします。
- ・ ご記入時、自由記載欄は適宜、大きさを変更していただいても構いません。また、回答しにくい内容については空欄のままで結構です。

ご返送の締め切り：平成 25 年 3 月 8 日(金)までにお願いします。

E-mail: office@janpu.or.jp または FAX 番号: 03-6206-9452 にご返送ください。

■ 本調査票は本会ホームページからもダウンロード可能です。

<http://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2013/02/SurveyForDisaster.doc>

<http://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2013/02/SurveyForDisaster.pdf>

★ 以下の質問に対して、お答えください。質問は I ～ VIII まであります。

I. 貴大学では、災害に備えて「マニュアル」をどのように整備していますか。
あてはまる番号に○をつけて下さい。

- 1 () マニュアルはない。
- 2 () 現在、作成中である。
- 3 () すでにマニュアルがある。 ⇒ ⇒ ⇒ 以下 1)～6) についてもご回答ください。

1) いつごろ作成されましたか・・・() 年頃に作成

2) マニュアルの名称を記入して下さい・・・()

3) マニュアルの対象範囲について

・・・(①大学全体 ②学部全体 ③学科ごと ④その他)

4) マニュアルを本委員会宛に郵送またはメール添付でお送りいただくことは可能ですか。

・・・(①郵送で可能 ②メール添付で可能 ③送ることはできない)

* マニュアルをご返送いただける場合、以下の質問について「マニュアルに記載あり」と記入していただいても結構です。なお、お手数ですが該当するところに「付箋」を付けて下さい。

5) マニュアルの中に、災害発生時の学生の安全確保と教育の保障についての項目はありますか。

ある場合は、内容の主な点について記入して下さい。また、実習を含め、教育の保障について、他大学との間でネットワーク構築がされている場合はそれについても記入して下さい。

6)一昨年 3 月の東日本大震災からの学びとして、新たにマニュアルに盛り込んだ、あるいは修正した項目や内容があれば、具体的に記載してください。

II. 貴大学では、災害に備えて「**備蓄**」をどのように行っていますか。
あてはまる番号に○をつけて下さい。

- 1 () 備蓄はない。
- 2 () 何らかの備えがある。⇒ ⇒ ⇒以下 1)~2) についてもご回答ください。

1)組織として備えているものについて、該当するものに主な内容をご記入ください。
「備蓄」という正式な名目がついていないものでも結構です。

①大学として

②学部として

③学科として

④その他

2)学内および通学中において、個々の学生に推奨している備蓄品があればご記入ください。

III. 貴大学では、災害に備えて「**防災訓練**」をどのように行っていますか。
あてはまる番号に○をつけて下さい。

- 1 () 実施していない。
- 2 () 実施しているが不定期である。 }

3 () 定期的に実施している。 ⇒⇒⇒以下 1)～4) についてもご回答ください。

1) 実施頻度・・・1 年間に () 回程度

2) 実施体制・・・(①大学全体 ②学部全体 ③学科ごと ④その他_____)

3) 訓練時に想定していることについて、以下に記載してください。

①災害の種類

()

②被害程度

()

③その他

()

4) 今年度の実施内容について、特にテーマにしたことなど具体的に記載してください。

5) 東日本大震災からの学びとして、変更・修正した内容があれば、具体的に記載してください。

IV. 貴大学では、災害発生時の「**情報発信**」・「**安否確認**」・「**被災者対応**」などについて、システムとして、あるいは共通認識できる取り決めとして、どのように構築していますか。
あてはまる番号に○をつけて下さい。

1 () 安否確認等のシステムや取り決めはない。

2 () 現在作成中である。

3 () 安否確認等について何らかのシステム、または取り決めがある。 ⇒⇒⇒以下 1)～4) にご回答ください。

1) 大学から学部生、大学院生、教職員への一斉の情報配信はどのような方法（手段）をとっていますか。

2) 学部生、大学院生、教職員の安否の確認をどのようにしていますか。

(1) 学部生、大学院生：①授業中の場合、②実習の場合、③自宅にいる場合、④海外にいる場合など、それぞれ決められていることがありましたら、記入して下さい。

(2) 教職員：①授業中の場合、②実習の場合、③自宅にいる場合、④海外にいる場合など、それぞれ決められていることがありましたら、記入して下さい。

3) 被災者（学生、大学院生、教職員）に対する大学としての対応はどのように決められていますか。①初期の対応（安全安心の確保、帰宅難民となった場合への対応）、②中長期の対応（経済的支援、心のケア）など、決められていることがありましたら、記入して下さい。

4) 東日本大震災からの学びとして、上記についてマニュアルに盛り込んだ、あるいは修正した項目や内容があれば、具体的に記載してください。

V. 災害時の組織体制をどのようにしていますか。教職員の参集基準、緊急連絡網、災害対策本部の設置方法、活動班の編成などについての取り決めがありましたら、ご記入ください。

VI. 今年度または次年度(予定)、防災の充実や備蓄に対する予算措置があれば、その内容と予算程度について記載してください。

VII. 災害発生時、あるいはそれに備えることとして、上記以外に貴大学がマニュアルなどで取り決めていることがあれば、情報提供をお願いします。

(例) 防災・減災教育、ボランティア支援・大学内の環境整備(什器類の転倒防止・ガラスなどの飛散防止など)、地域との連携の方法:大学が避難所となる場合のマニュアルなど。

VIII. ご記入者の職名とご氏名

学校コード(4桁) _____ 学校名 _____

職名・ご氏名 _____

連絡先電話(FAX) 番号 _____

E-mail address: _____

* 上記のご回答の集計結果については、大学名を特定できない形式で公表する予定ですが、積極的な取組事例については、HPで大学名を付して紹介したいと考えています。
HPへの掲載を許可できない場合は、下記欄に質問番号をご記入ください。